

# 貸借対照表

2020年11月30日

テクノエイド株式会社  
(単位 千円)

借 方	貸 方
<b>資 産 の 部</b> 流 動 資 産 215,380 現 金 及 び 預 金 1,521 売 掛 金 38,804 商 品 及 び 製 品 126 仕 掛 品 732 短 期 貸 付 金 174,126 そ の 他 69  固 定 資 産 206,246 有 形 固 定 資 産 147 車 両 運 搬 具 147  無 形 固 定 資 産 212 電 話 加 入 権 212  投 資 そ の 他 の 資 産 205,886 長 期 貸 付 金 200,000 繰 延 税 金 資 産 5,866 そ の 他 19	<b>負 債 の 部</b> 流 動 負 債 49,907 買 掛 金 6,302 未 払 金 12,073 未 払 費 用 1,909 未 払 法 人 税 等 13,854 未 払 消 費 税 等 11,280 預 り 金 2,741 賞 与 引 当 金 1,746  固 定 負 債 13,727 退 職 給 付 引 当 金 13,727  負 債 合 計 63,635  <b>純 資 産 の 部</b> 株 主 資 本 357,991 資 本 金 10,000 利 益 剰 余 金 347,991 利 益 準 備 金 2,500 そ の 他 利 益 剰 余 金 345,491 別 途 積 立 金 310,000 繰 越 利 益 剰 余 金 35,491  純 資 産 合 計 357,991
<b>資 産 合 計</b> 421,626	<b>負 債 及 び 純 資 産 合 計</b> 421,626

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

## 個別注記表

テクノエイド株式会社

### (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法
  - (1) たな卸資産の評価基準及び評価方法
 

商品	……………	主として最終仕入原価法 (貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
仕掛品	……………	最終仕入原価法 (貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)
2. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産
 

……………	……………	定額法によっております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 工具器具備品 1年～3年
-------	-------	--
3. 引当金の計上基準
  - (1) 貸倒引当金  
債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については過年度の貸倒実績率を基礎とした貸倒見込率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
  - (2) 賞与引当金  
従業員に支給する賞与の支払に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき計上しております。
  - (3) 役員賞与引当金  
役員に支給する賞与の支払に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき計上しております。
  - (4) 退職給付引当金  
従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。  
過去勤務費用は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により費用処理しております。  
各事業年度の数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)による定額法により、それぞれの発生年度の翌事業年度から費用処理することとしております。
4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項
  - (1) 消費税等の会計処理方法  
税抜方式によっております。

### (株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当事業年度の末日における発行済株式の数
 

普通株式	200株
------	------

#### 2. 当事業年度中におこなった剰余金の配当に関する事項

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額	基準日	効力発生日
2020年2月14日 定時株主総会	普通株式	3,000千円	15,000円	2019年11月30日	2020年2月17日

#### 3. 当事業年度の末日後におこなう剰余金の配当に関する事項

2021年2月12日開催の定時株主総会において、次のとおり決議を予定しております。

配当金の総額	3,000千円
配当の原資	利益剰余金
1株当たり配当額	15,000円
基準日	2020年11月30日
効力発生日	2021年2月15日